

## 騒音・振動計のテキストデータをグラフにする手順

別紙の手順どおりにカード内のデータを開いて頂くと下記のような状態と思います。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	Address	Time	Measurmer	LAeq	LAE	LAmx	Lamin	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	LCpeak	Over	Under	Pause
2		#####	0:05:00	57.1	81.9	74	45.6	61.5	59.5	51.4	47.5	46.9	88.9	-	-	-
3		#####	0:05:00	57.9	82.7	76.1	45.4	64.6	61	50	47.1	46.8	93.7	-	-	-
4		#####	0:05:00	52.8	77.6	72.1	45.5	55.5	53.8	49.5	47.4	47	90.5	-	-	-
5		#####	0:05:00	57.4	82.2	75.1	45.5	60.7	57.9	50.9	47.7	47.2	87.9	-	-	-
6		#####	0:05:00	57.7	82.4	74.2	45.2	62.4	61	54.5	48.4	47.5	86.4	-	-	-
7		#####	0:05:00	52.3	77.1	68.6	45.1	57.3	55.3	49.6	46.8	46.5	90.4	-	-	-
8		#####	0:05:00	55	79.8	73.7	45.4	59.5	57.9	50.7	47.5	46.9	100.3	-	-	-
9		#####	0:05:00	53.1	77.8	70.4	45.6	58	55.8	48.7	46.9	46.6	88.4	-	-	-
10		#####	0:05:00	55.1	79.9	71	45.4	61.3	59.1	48.4	46.5	46.3	88.7	-	-	-
11		#####	0:03:18	52.3	75.2	71.7	45.4	57.7	54.5	47.3	46.3	46.1	95	-	-	-

「Time」の部分を広げて見やすくして下さい。その際に日付が不要であれば消して下さい。  
また、右端の「Over」「Under」「Pause」も今回は消しています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	Address	Time	Measurmer	LAeq	LAE	LAmx	Lamin	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	LCpeak
2	1	2009/6/25 11:31	0:05:00	57.1	81.9	74	45.6	61.5	59.5	51.4	47.5	46.9	88.9
3	2	2009/6/25 11:36	0:05:00	57.9	82.7	76.1	45.4	64.6	61	50	47.1	46.8	93.7
4	3	2009/6/25 11:41	0:05:00	52.8	77.6	72.1	45.5	55.5	53.8	49.5	47.4	47	90.5
5	4	2009/6/25 11:46	0:05:00	57.4	82.2	75.1	45.5	60.7	57.9	50.9	47.7	47.2	87.9
6	5	2009/6/25 11:51	0:05:00	57.7	82.4	74.2	45.2	62.4	61	54.5	48.4	47.5	86.4
7	6	2009/6/25 11:56	0:05:00	52.3	77.1	68.6	45.1	57.3	55.3	49.6	46.8	46.5	90.4
8	7	2009/6/25 12:01	0:05:00	55	79.8	73.7	45.4	59.5	57.9	50.7	47.5	46.9	100.3
9	8	2009/6/25 12:06	0:05:00	53.1	77.8	70.4	45.6	58	55.8	48.7	46.9	46.6	88.4
10	9	2009/6/25 12:11	0:05:00	55.1	79.9	71	45.4	61.3	59.1	48.4	46.5	46.3	88.7
11	10	2009/6/25 12:16	0:03:18	52.3	75.2	71.7	45.4	57.7	54.5	47.3	46.3	46.1	95

続いてグラフにするに当たって、表示したい項目以外を消去します。

例えば、Lamax（最大値）とLamin（最小値）のみをグラフにしたい場合は下記のように消去します。  
（つまり、C、D、E、H、I、J、K、L、Mの列を消去します）

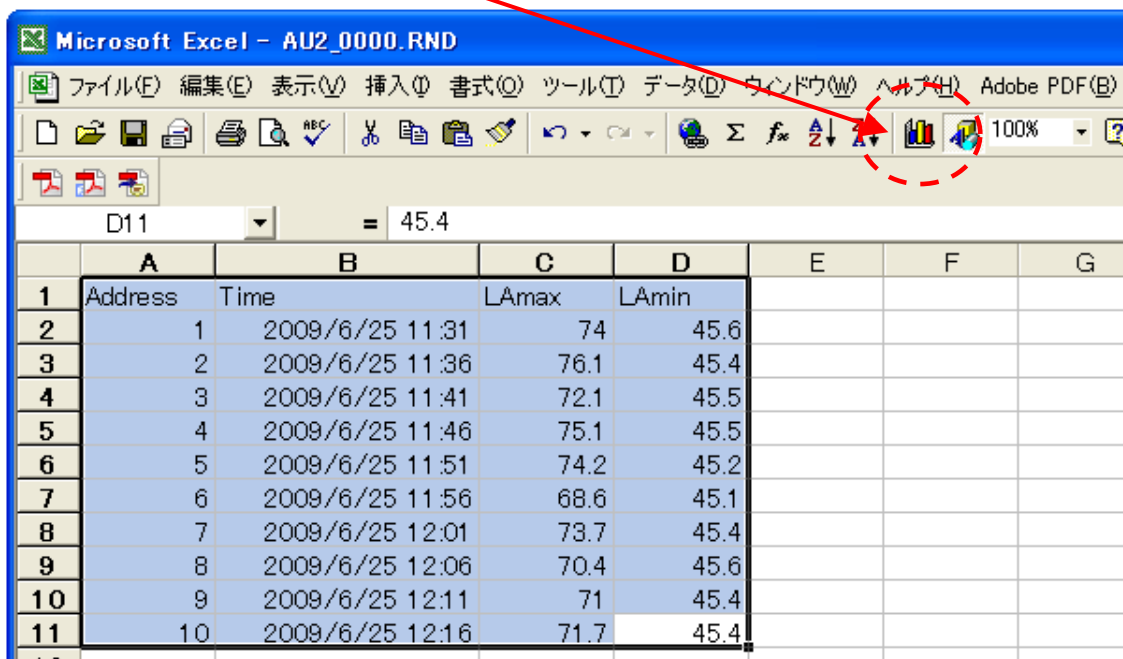
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	Address	Time	Measurmer	LAeq	LAE	LAmx	Lamin	LA05	LA10	LA50			Cpeak
2	1	2009/6/25 11:31	0:05:00	57.1	81.9	74	45.6	61.5	59.5				88.9
3	2	2009/6/25 11:36	0:05:00	57.9	82.7	76.1	45.4	64.6	61				93.7
4	3	2009/6/25 11:41	0:05:00	52.8	77.6	72.1	45.5	55.5	53.8				90.5
5	4	2009/6/25 11:46	0:05:00	57.4	82.2	75.1	45.5	60.7	57.9				87.9
6	5	2009/6/25 11:51	0:05:00	57.7	82.4	74.2	45.2	62.4	61				86.4
7	6	2009/6/25 11:56	0:05:00	52.3	77.1	68.6	45.1	57.3	55.3				90.4
8	7	2009/6/25 12:01	0:05:00	55	79.8	73.7	45.4	59.5	57.9				100.3
9	8	2009/6/25 12:06	0:05:00	53.1	77.8	70.4	45.6	58	55.8				88.4
10	9	2009/6/25 12:11	0:05:00	55.1	79.9	71	45.4	61.3	59.1				88.7
11	10	2009/6/25 12:16	0:03:18	52.3	75.2	71.7	45.4	57.7	54.5				95

削除の方法は上記のように選択した後、右クリックで削除を選んで実行すると出来ます。

## 騒音・振動計のテキストデータをグラフにする手順

続いて残ったデータを下記のようにマウスのカーソルを合わせて選びます。

その後、EXCEL 上部のグラフ作成ボタンをクリックします。



下記のような画面が現れますので、左側の「グラフの種類」から好きなグラフを選択した後、右側の形式より、その内容を選択してください。（今回は折れ線グラフを選択しました）

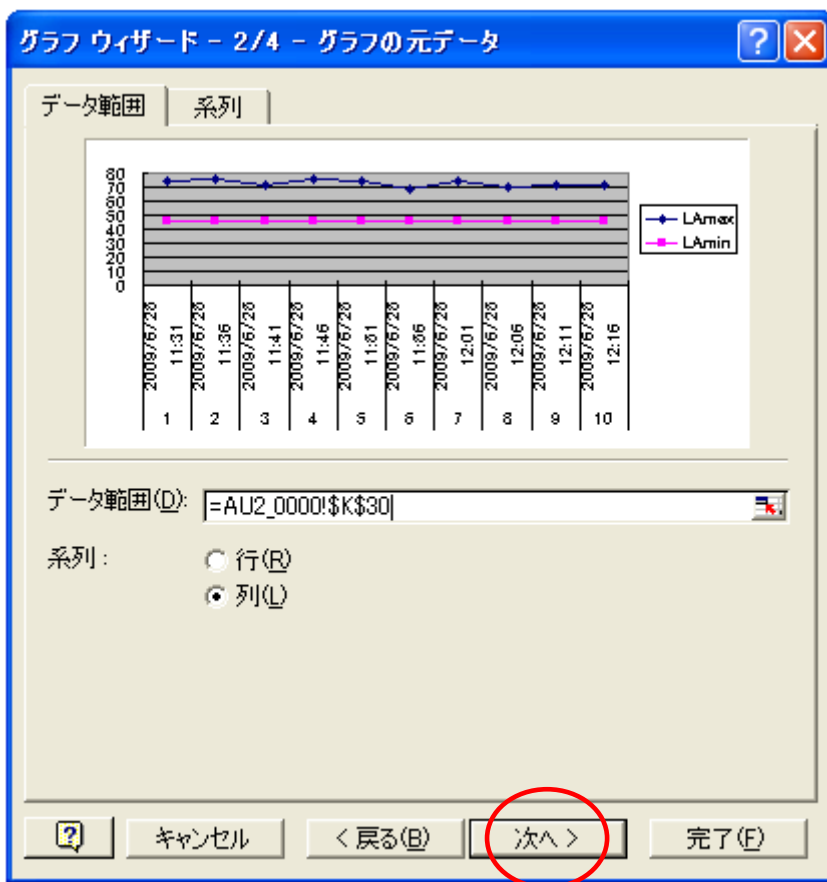


「次へ」をクリックしてください。

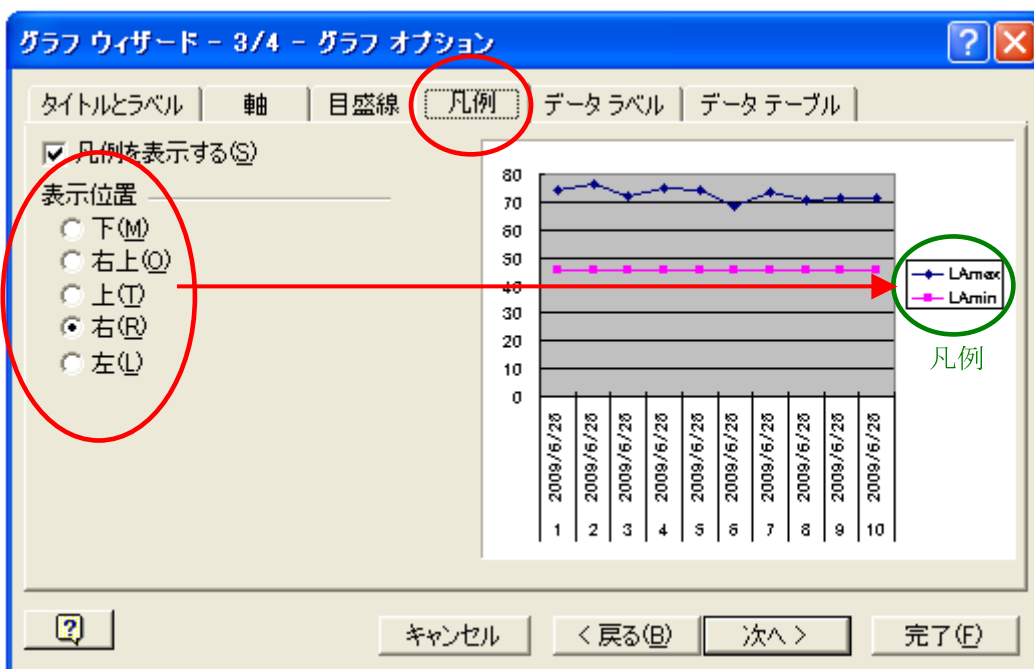
「完了」をクリックすると、その段階での中途半端なグラフが作成されます。

## 騒音・振動計のテキストデータをグラフにする手順

次に下記のような画面が現れます。特に変更する必要は無いと思いますので、変更せずに「次へ」を選択してクリックして下さい。



次に下記のような画面が現れます。まず「凡例」のシート上で凡例の位置を選んで下さい。

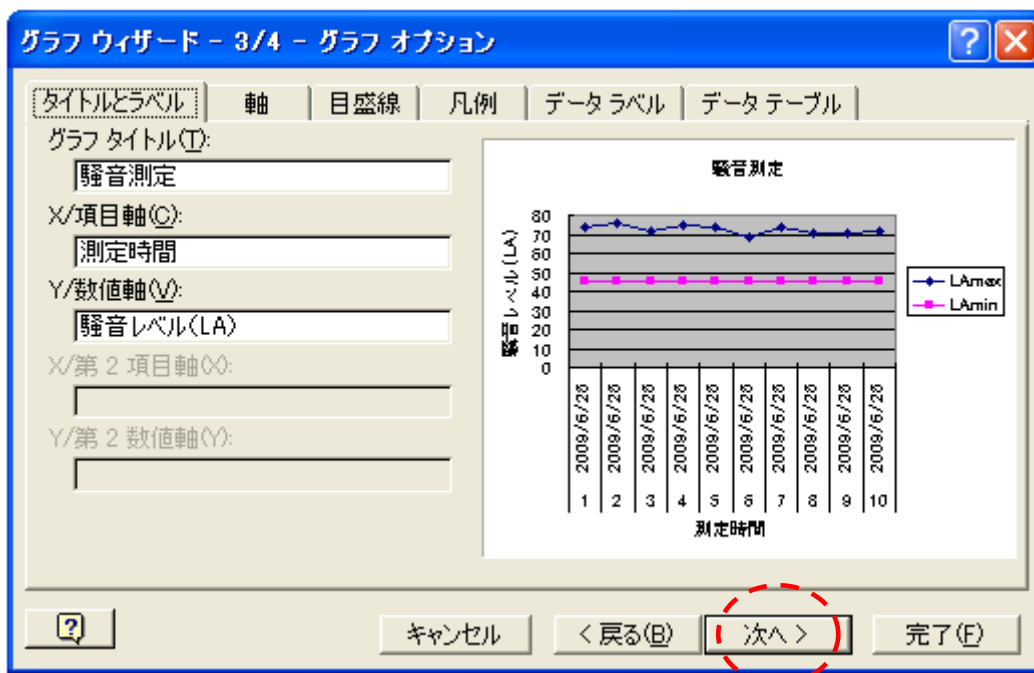


## 騒音・振動計のテキストデータをグラフにする手順

次に「タイトルとラベル」のシートをクリックして下さい。

グラフ自体のタイトル（名前）とX，Y軸それぞれの項目名を入力して下さい。

「次へ」を選択してクリックして下さい。

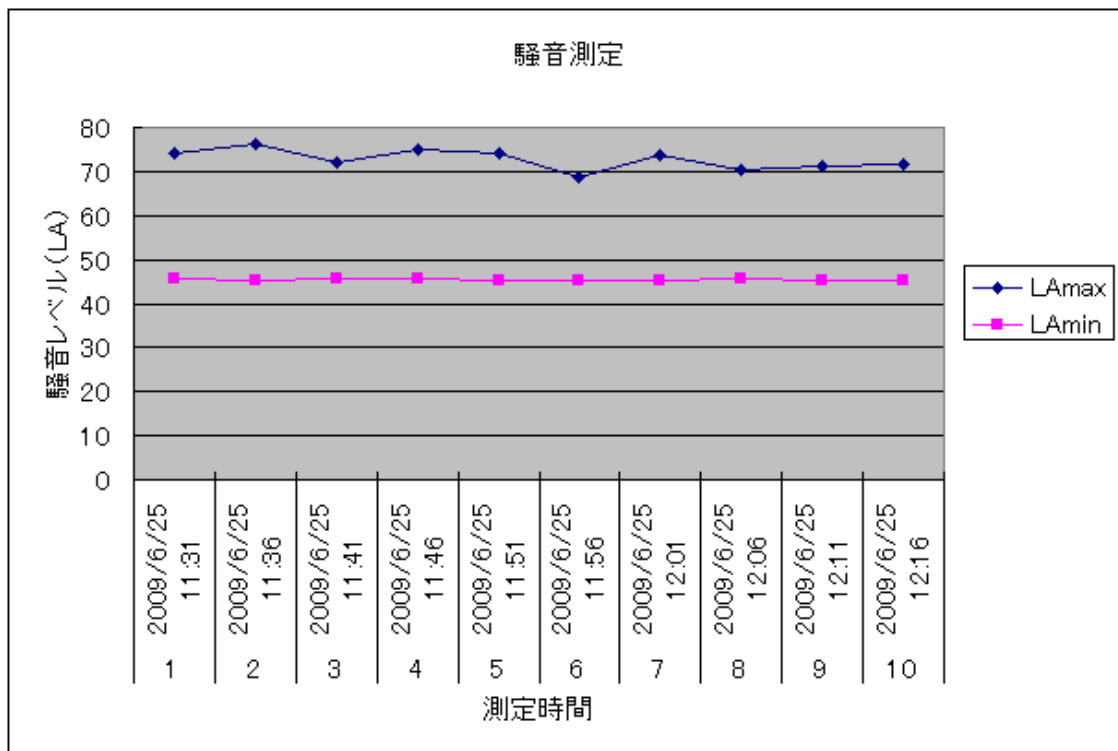


最後に完了を選択して下さい。



## 騒音・振動計のテキストデータをグラフにする手順

ここまでの手順で「完了」をクリックして頂くと、下記のようなグラフが作成されます。



もちろん、凡例の項目名や日付の測定時間（日付）の部分などは最初の段階で変更する事でご希望の内容に合わせることが可能です。

また、Lamax と Lamin 以外にも LAeq や LA10 といった数値も最初に消さずに頂ければグラフとして残すことができます。

注) 上記は Microsoft Office 2000 バージョンの EXCEL にて作成しております。

お客様の PC 環境によっては表示内容が異なる場合もございますので、予め御了承下さいませ。